

登録コード	E2180900	開講年度	2026				
授業科目	哲学基礎				担当教員	馬場 智一	
英文授業名	Introduction to Philosophy				副担当	関 良徳	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生	2-4年生
講義室	教育N101講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				世界の文化・思想についての知識に基づき、人間にとって重要な問題や価値について自ら問いを立て、他者と議論しながら吟味できるようにする。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				世界の文化・思想についての知識に基づき、人間にとって重要な問題や価値について自ら問いを立て、他者と議論しながら吟味できるようにする。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、哲学を知識の体系としてではなく、「対話」や「問い」を通じて自己や他者、社会と向き合う実践として捉える。プラトンからカント、ヤスパース、アーレント、レヴィナスに至る思想を参照し、哲学における対話の意味とその展開を学ぶ。毎回の授業冒頭には前回内容の理解を確認する小テストを実施するほか、哲学対話の体験を行い、リフレクションシートを作成する。評価は、小テスト、リフレクションシート、期末テストを総合して行う。						
(5)授業計画	第1回 ガイダンス / 哲学とは何か 第2回 プラトン (対話・産婆術) 第3回 プラトン (洞窟・教育) 第4回 アリストテレス (弁論と対話) 第5回 哲学対話体験 第6回 ヘレニズム哲学 (生き方としての哲学) 第7回 デカルト (内省と懐疑) 第8回 啓蒙思想 (対話なき世界への批判) 第9回 カント (理性の公共的使用) 第10回 ヤスパース (実存的対話) 第11回 哲学対話体験 第12回 アーレント (活動と公共性) 第13回 レヴィナス (他者と責任) 第14回 まとめ (授業最終回で授業アンケートを行う。)						
(6)成績評価の方法	成績評価は、授業冒頭の小テスト (25%)、授業後のリアクションペーパー (25%)、哲学対話時のリフレクションシート (15%)、期末テスト (35%) の結果を総合して行う。						
(7)成績評価の基準	得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：レジュメを事前に読んで上で授業に臨むこと。 事後学習：授業冒頭に前回の内容について問う小テストを行うので、復習をしておくこと。						
(9)履修上の注意	教育実習で欠席することがわかっている場合は、授業中に指示する方法であらかじめ報告すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	baba.cours@gmail.com						
【教科書】	教科書は特になし。						
【参考文献】	参考文献は適宜授業中に示す。						